

平成28年度「校外へ公開する研究授業」実施報告書

ホームページ掲載日	平成 28 年 12 月 27 日 (火)						
実施年月日(曜)	平成 28年 12月 9日 (金)						
授業時間(時限)	10時 45分～ 11時 40分 (第3 時限)						
公開学年・公開教科 (公開授業名)	1年1組 現代社会 「現代の雇用・労働問題」						
授業者名	山野井 亮秀						
形 態	初任研・10年研・ 教育課程研究委員会 ・ 小中高算数・数学研究会 (その他 (NIE研究指定校)) (○をつける)						
授業公開 対象者	校内外の先生方、NIEアドバイザーの方々、一般の皆様						
授業参観者数	校内		校外			その他 ()	合計
	教職員	保護者	教職員	NIE関係	生徒		
	3人	人	8人	6人	人	人	17人
校外の人々の参観 にあたって特に配 慮した取組	・駐車場の確保、受付・案内・控室の準備						
授業研究会の 時間・参加者 の範囲・参加 人数・参加者 から出された 主な感想・意 見	<p>11時 50分～ 12時 45分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業者より 年間を通じてかなりの新聞記事の扱いとなってきた。主体的に生徒に考えさせる材料となり、現代社会の抱える課題とその解決方法を考えさせている。準備に多くの時間をかけないよう教材準備することで、持続可能なNIEの展開ができる。 ・教科書の音読について 音読により言語活動が活発になっているか 授業アンケートでは好評である。語彙が豊かになってくる。集中力がつき、声を出して読むことにより、自己表現もできてくるのでは。基礎的な知識を身につけさせながら、国語力も高まるのではないか。 ・ペアワークについて 自分自身がどう考えるのか、あなたはどうかという、互いの思考力の開発。社会の課題を自分のこととしてとらえることができる。相手にそれを伝えようとする力が身に付く。人間関係の上で、成熟していないと難しいのではないか。 → ペアワーク導入時の指導としては、互いの心を開くためのアイスブレイクが必要。子供によっては精神的に厳しいと感じてはいないか。配慮が必要。もっと様々な意見を聞いて比較していくためには、グループワークの形の方が良いのではないか。大勢の意見の共有化を図ることができないか。 ・4人の生徒の発表 実に個性的であった。特に年功序列型に偏るかと思ったら、成果主義賛成派も二人いて、多様な考え方ができていた。雇用される側の立場にたちやすい。雇用する側の視点の記事があったので、多面的な考え方ができた。特に3人目の発言で、フレックスタイムとかワークシェアリングといった形にとらわれるのではなく、それぞれの地域や企業の特徴から改善方法を見つけていくという意見は、掘り下げていく時間があればよかった。 						
成果と課題	<p>社会的課題を解決し人権感覚を養うことで、ESDに結び付けることができる。またNIEを持続可能な教育方法としようとしているところに、成果があるのではないか。(担当がいなくなると実践がなくなるのではなく)</p> <p>生徒たちがしっかり記事を読んだり、教科書を音読した成果として、自分の問題として社会的な課題をとらえている。読むことに対抗感が無く、課題解決に取り組もうとしている姿勢が見られた。</p> <p>ペアワークにおいて、もっと共有化できるようなスタイルに発展させる余地がある。</p>						